

●Windows 7以前のリモートデスクトップサービスに脆弱性…XPにも異例のパッチ提供



<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/1184520.html>

このニュースをザックリ言うと…

- 5月15日（日本時間）、マイクロソフト（以下MS）より発表された月例のセキュリティパッチにおいて、Windows 7（およびWindows Server 2008 R2）以前の**リモートデスクトップサービスに存在する、任意のコード実行が可能な脆弱性（CVE-2019-0708）**が修正されています（Windows 8以降には脆弱性は存在しないとのことです）。
- PCにおいてリモートデスクトップサービスが有効になっている場合、脆弱性の悪用により、攻撃者がPCを外部から乗っ取ることが可能であるとされています。
- MSでは脆弱性の内容を鑑み、既にサポート期限が切れている**Windows XP（およびWindows Server 2003）**に対するパッチも「Microsoft Update カタログ」にてリリースしています。

AUS便りからの所感等

- XPのサポートは2014年に終了していますが、MSでは2017年にマルウェア「WannaCry」に悪用された脆弱性を修正するパッチをやはりXP等に対しリリースしており、**今回も依然無視できないシェアを持つとされるXPに対し、脆弱性を悪用による同様のマルウェアの被害が発生することを懸念して対応を行ったとみられます。**
- Windows 7についても、2020年1月のサポート終了以降かなりの台数が稼働し続けると考えられ、MSから今回のように特別にパッチがリリースされる可能性が考えられますが、可能な限り8.1や10への移行を進めること、さもなくばアンチウイルスの導入およびUTMによる社内LANとの隔離等を検討するようにしましょう。



Windows XPにも異例のパッチ提供～リモートデスクトップサービスにコード実行の脆弱性
「WannaCry」再来の悪夢を防止するためにも速やかな対策を

梶井 秀人 2019年5月15日 08:00

※Microsoftは5月14日（現地時間）、リモートデスクトップサービス（Remote Desktop Services、かつてはTerminal Servicesとも）に重大なリモートコード実行の脆弱性（CVE-2019-0708）が存在することを公表した。Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008などに影響し、現在“Windows Update”を介したパッチの提供が行われている。

今回公表された脆弱性はリモートデスクトッププロトコル（RDP）ではなくリモートデスクトップサービスの問題で、細工を施した接続リクエストを送信するだけで悪用が可能。ユーザーの操作を必要としないため、自己増殖して感染を広げる“ワーム”タイプのマルウェアに組み込まれる可能性がある。そうならば2017年に世界中で猛威を振るったランサムウェア「WannaCry」の再来にもなりかねない。

●生徒個人情報データ入りUSBメモリ紛失相次ぐ…静岡県・茨城県の高校



<https://www.sankei.com/affairs/news/190426/afr1904260022-n1.html>
<https://www.sankei.com/affairs/news/190509/afr1905090021-n1.html>

このニュースをザックリ言うと…

- 4月下旬から5月上旬にかけて、県の高校に通う**生徒の個人情報が入ったUSBメモリが紛失する事故が相次いでいます。**
- 4月26日（日本時間）、静岡県教育委員会より、同県立袋井商業高校の教諭が卒業生含む最大424人分の成績基礎データ等が入ったUSBメモリを**校内で紛失した**と発表されました。
- 同5月9日には茨城県教育委員会より、県立鹿島高校の教諭が全校生徒832人の個人情報（保護者氏名含む）を私用のUSBメモリに入れて持ち帰ったところ、**自宅で何者かに盗まれた**ことが発表されています。

AUS便りからの所感等

- USBメモリのみならずSDカードも含めた小さなデバイスについては、個人情報をコピーしたまま紛失するケース、出所が不明なデバイス等をPCに接続してしまうことにより、マルウェアに感染してしまうケース等枚挙に暇がなく、2018年5月にはIBMが各種ポータブルデバイスの使用を全社的に禁止する計画を発表しています。（AUS便り 2018/05/21号参照）
- 機密情報をUSBメモリに入れて持ち出さざるを得ない状況が度々発生するのであれば、万が一の紛失時に第三者へ流出する恐れを防ぐべく、**USBメモリ上あるいはハードディスク上のデータを自動的に暗号化する**といったソリューションの導入等も検討に値するでしょう。



静岡・袋井商の女性教諭、生徒424人の個人情報紛失

2019.4.26 19:21 | 社会 | 事件・犯罪

静岡県教育委員会は26日、県立袋井商業高校（袋井市久能）で業種別の女性教諭が、卒業生を含めて最大424人分の成績基礎データなどの個人情報が入ったUSBメモリを紛失したと発表した。

県教委によると、教諭は今年2月4日午前9時40分ごろ、生徒の名前や成績評価など成績基礎データなどを保存した私物のUSBメモリ3本をストラップで取り付けたポーチに入れ、業務を行っていた。同日午後3時40分ごろ、ポーチがストラップからとれて紛失しているの気づいたという。教諭は上司に報告し、25、26日に全職員で捜索したが、発見に至っていない。教諭は校外には出ていないという。

生徒個人情報832人分のUSB紛失 茨城県立高教諭

2019.5.9 19:05 | 社会 | 事件・犯罪

茨城県教育委員会は9日、県立鹿島高（鹿嶋市）の男性教諭が、全校生徒832人の氏名と住所、電話番号、保護者氏名が記録されたUSBメモリを紛失したと発表した。現時点で情報漏洩（ろうえい）に発生したかは確認されていない。

県教委高校教育課によると、男性教諭は4日、職員室の業務パソコンで生徒名簿を作成していたが、作業が終わらなかったため私用のUSBメモリにデータを保存して自宅に持ち帰った。6日未明の就寝中、何者かが自宅に侵入する被害に遭い、USBメモリや財布などが盗られたと気づいたという。自宅を所管する千葉県警捜査課が捜査事件として捜査している。